

DVD一覧

番号	タイトル	出版元	所要 時間	カテゴリー	内容	字幕	副音声	解説書
125	ひとみ輝くとき -いじめは命の問題です-	共和教育映画社	35	こどもの人権 (いじめ問題)	子どもの世界で起こっている、いじめや虐待の問題を大人が自分のこととして考え、子どもを家庭・学校・地域社会が協力し合って支えていく社会の形成ができることを願い制作。子ども達がこのビデオを鑑賞して「いじめの構造」を知ったとき、自分はこの立場にいるのかを判断し、皆で考え話し合える作品。	○	なし	なし
127	(虐待防止シリーズ)幼児・児童虐待 ー見えない虐待をしないためにー	東映株式会社	25	こどもの人権 (虐待問題)	「エゴの押し付け」「発育への不安と孤立」「過干渉としつけへの思い込み」の実例3話のオムニバスドラマ。各先生がドラマに沿って、問題点と虐待を防ぐ対応法をわかりやすく紹介し、巻末では、求められる親の気づきをアドバイス。	○	なし	なし
142	いじめなんか、いらない！！ ～東日本大震災から、私たちは学んだ～	東映株式会社	15	こどもの人権 (いじめ問題)	東日本大震災の被害は、住宅や商店ばかりでなく、学校にも押し寄せました。明日も続くと思っていた学校生活、いつでも会えると思っていた友だちの姿が一瞬にして奪われてしまう。被災した中学校、変わり果てた町の姿、大人・子どもたちのコメントを中学生たちが視聴し、いじめがいかに、今の生活やいのちのありがたさを忘れて起きているかを自覚していく姿を描いています。	なし	なし	なし
161	さるカニ合戦 いじめっこザルと正直カニさん	ジャパンホームビデオ	12	こどもの人権 (いじめ問題)	【幼児・小学生向き】昔ばなしでお話ししましょ。みんなでいじめを考える初期学習。楽しくでわかりやすい昔ばなしをテキストに、「いじめ」という問題を個々で考え、みんなで話し合うための素材です。豊かな共感づくりの第一歩として活用できます。	なし	なし	なし
170	1人ぼっちの狼と 7ひきの子やぎ =アニメーション= (文科省選定)	株式会社ケントハウス	18	こどもの人権 (いじめ問題)	やさしい心で人に接すれば、その人もきっとやさしい心で応えてくれます。この作品を見た子供たちが、そんなやさしい人に育ってくれることを願って。	なし	なし	なし
218	夕焼け ～だれもが人権尊重される社会を～ (ヤングケアラー)	兵庫県人権啓発協会	35	こどもの人権	物語の主人公・瑠依は、幼い弟の世話や家事に追われる生活にしんどさを感じつつも、「家族のことは家族ですのが当たり前」という思い込みから、気持ちを押し殺して生活しているヤングケアラーです。しかし、小学校時代の担任であり元ケアラーの灯との交流によって、自分の状況や本当の気持ちについて見つめ直し、将来に向き合うための一歩を踏み出します。この作品では、お互いを気かけ、人と人がつながっていくことが、ケアラーとその家族が抱える問題解決の糸口になる様子を描きます。	○	○	○ (WEB)
226	「考えよう！いじめ ～一人で悩まず相談しよう～」	人権教育 啓発推進センター	29	こどもの人権	令和4年度の学校におけるいじめの件数が約68万件と過去最多になっており、子どもを取り巻く状況は深刻化しています。最近はSNSなどのインターネット上で行われるいじめがあり、学校や親など周りから見えにくくなっています。また、ささいなきっかけから深刻ないじめへと発展するケースも少なくありません。このDVDでは、いじめをなくすためにどうすればよいか、周囲の大人へのSOSの出し方や悩んだ時の相談窓口について、事例をもとに学べる教材です。	○	○	○
227	「考えよう！児童虐待」	人権教育 啓発推進センター	33	こどもの人権	近年、全国の児童相談所における児童虐待*の相談件数は一貫して増加し、令和4年度には約22万件と過去最多となっています。こどもの生命に関わる重大な児童虐待事件も後を絶たず、児童虐待の防止は社会全体で取り組むべき喫緊の課題です。このDVDは、子どもを取り巻く深刻な状況を改善するため、児童虐待防止に関する正しい知識を身に付けるための教材で、事例*をもとに学べます。 参考：子ども向けの説明、大人向けの説明パートがあります。 *事例（心理的虐待・身体的虐待・ネグレクト・性的虐待）	○	○	○

DVD一覧

番号	タイトル	出版元	所要 時間	カテゴリー	内容	字幕	副音声	解説書
228	「あなたのいる庭」	兵庫県人権啓発協会	35	こどもの人権	この作品は、「こどもの人権」について改めて考え、誰もが一人の人間として尊重される社会の実現をめざすことを目的に制作されました。 社会には、虐待や貧困、死別など様々な理由で保護者と暮らせず、児童養護施設など社会的養護のもとで暮らしているこどもたち、そして社会的養護下から自立したが、家族からのサポートを得られずに生きる人たち（ケアリーパー）がいます。そうした現状や実態を知る人は少なく、世間からの無理解と偏見により、進学や就職など生きる上で様々な困難に直面している現状があります。 次代の社会を担うこどもたちが自分らしく幸せに成長でき、暮らせるように、社会全体で支えていかなければなりません。	○	○	○ (WEB)